

福知山市商工会 企業業況調査

令和4年10月調査結果(令和4年7月～9月分 調査対象 81件) (令和4年11月公表)

■景況感

	今回調査数	現状		先行3ヶ月		先行1年		
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	
全体	81	29.0	29.0	30.6	29.6	31.2	32.1	
地域別	三和	17	30.9	33.8	27.9	33.8	29.4	35.3
	夜久野	26	28.8	24.1	27.9	28.6	31.7	30.4
	大江	38	28.3	30.6	33.6	28.5	31.6	31.9
業種別	製造業	21	38.1	31.3	40.5	35.4	42.9	40.6
	建設業	20	28.8	31.5	31.3	29.3	26.3	31.5
	卸小売業	18	23.6	29.2	23.6	29.2	30.6	29.2
	サービス業	22	25.0	22.6	26.1	22.6	25.0	23.8

【景況感DIの算出方法】

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0
(すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

景況感DIは29.0と前回調査と同じとなった。地域別では、三和が2.9ポイントのマイナス、夜久野が4.7ポイントのプラス、大江が2.3ポイントのマイナスとなっている。業種別では製造業が6.8ポイントのプラス、建設業が2.7ポイントのマイナス、卸小売業が5.6ポイントのマイナス、サービス業が2.4ポイントのプラスとなっており、業種による増減はあるものの厳しい現状が続いている。

先行調査では、先行3ヶ月が30.6と1.0ポイントのプラス、先行1年が31.2となり0.9ポイントのマイナスとなった。業種別に見ると、先行3ヶ月では卸小売業でマイナス、それ以外の業種でプラス、先行1年では建設業でマイナス、それ以外の業種でプラスとなっている。祭り等も久しぶりに開催されはじめ、行動制限もゆるやかになってきており、お出かけへの需要は出始めている一方、価格転嫁が進まないと資源高による原材料コストの増加は企業収益にとって重石になる。

■経営動向

○製造業・建設業

	今期		前年同期比		向こう3ヶ月	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
引合			-7.3	-27.7	-9.8	
売上			-19.5	-72.3	-17.1	
仕入単価			-78.0	-72.3	-61.0	
従業員			-19.5		14.6	
採算	-12.2	-12.8	-34.1	-48.9	24.4	
資金繰り	-22.0	-25.5				
業況	-34.1	-48.9				

【経営動向DIの算出方法】

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出

(「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

※(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

★今期の経営動向

製造業・建設業においては、採算が0.6ポイント、資金繰りが3.5ポイント、業況が14.8ポイントのそれぞれプラスとなっている。

卸小売業・サービス業においては、採算が5.5ポイント、資金繰りが6.5ポイントそれぞれプラス、業況が1.9ポイントのマイナスとなっている。

○卸小売業・サービス業

	今期		前年同期比		向こう3ヶ月	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
売上			-45.0	-27.3	-40.0	
仕入単価			-80.0	-69.7	-72.5	
客数			-62.5	-24.2	-52.5	
客単価			-7.5	-24.2	-10.0	
従業員			-22.5		5.0	
採算	-40.0	-45.5				
資金繰り	-45.0	-51.5				
業況	-62.5	-60.6				

★前年同期比

製造業・建設業においては、前年同期比では、引合が20.4ポイント、売上が52.8ポイントのそれぞれ大幅なプラス、仕入単価が5.7ポイントのマイナス、採算が14.8ポイントのプラスとなっている。

卸小売業・サービス業においては、前年同期比では売上が17.7ポイント、仕入単価が10.3ポイント、客数が38.3ポイントそれぞれ大幅なマイナス、客単価が16.7ポイントのプラスとなっている。

なお、「従業員について」と「向こう3ヶ月の見通し」については今回調査より追加した為、前回との比較ができない。

■今期直面している経営上の問題点 (業種別上位5項目 項目の後の()は前回順位(同順位あり)、業種の後の数字は回答数)

	製造業(55)		建設業(50)		卸小売業(45)		サービス業(58)		全体(208)	
1位	仕入単価の上昇(2)	21.8%	仕入単価の上昇(1)	30.0%	仕入単価の上昇(3)	28.9%	仕入単価の上昇(1)	27.6%	仕入単価の上昇(1)	26.9%
2位	経費の増加(1)	20.0%	従業員の確保難(2)	20.0%	需要の停滞(1)	20.0%	需要の停滞(2)	13.8%	経費の増加(3)	14.4%
3位	従業員の確保難(7)	14.5%	経費の増加(4)	14.0%	従業員の確保難(6)	11.1%	経費の増加(4)	13.8%	需要の停滞(2)	13.0%
4位	設備の老朽化(4)	14.5%	需要の停滞(3)	12.0%	経費の増加(2)	8.9%	消費者ニーズの変化(3)	10.3%	従業員の確保難(4)	12.5%
5位	人件費の増加(5)	10.9%	人件費の増加(8)	6.0%	設備の老朽化(7)	6.7%	設備の老朽化(5)	8.6%	設備の老朽化(6)	8.2%

今回の調査で初めて「仕入単価の上昇」が全業種で1位を占めた。また、前回同様「需要の停滞」「人件費以外の経費の増加」をあげる事業者が多く、厳しい経営状況が顕著になっている。

この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は令和4年10月～12月の状況について、令和5年1月に調査する予定です。商工会の経営支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。